



人権映画鑑賞会「大切なひと」

12月3日に人権委員と希望者が参加し、「大切なひと」を鑑賞しました。作品のテーマは、「ネット社会における部落差別と人権～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～」です。SNS や動画サイトの普及により、誰でも思っていることを簡単に投稿し、共有できる時代になりました。一度インターネット上に投稿されたものは、削除したとしても残り続けます。このことを「デジタルタトゥー」といいます。何気なく投稿した言葉や動画が、誰かを苦しめているかもしれないということを意識して、よく考えて SNS を利用しましょう。

参加した生徒の感想(部分抜粋)

- 映画を見て、住んでいる町などを勝手にインターネットに載せて、差別コメントがいっぱいきていて怖いなと思いました。インターネットに上げる時には、自分のことだけでなく相手のこともしっかり考えて使いたいと思いました。
- 自分もよくネットを利用していて、差別的な内容の動画を見たことがあり、その時は何気なく見ていたけど少し嫌な気持ちになりました。自分で差別かどうか気付けることも大切だと感じました。

- 今回で SNS の使い方を改めて見直したいと思います。デジタルタトゥーがどれだけ怖いかよくわかりました。一人一人が責任をもって、SNS に載せる前に本当に載せていいのかもう一度確認し、その場のノリで載せないように気を付けます。
- 1つの情報だけで人や地域のことを判断するのは違うと思いました。ネットでもリアルでも言葉はいつでも凶器になってしまい、時に誰かを深く傷つけてしまうものなんだと感じました。

人権啓発ポスターの紹介

夏休みに皆さんに描いてもらった人権啓発ポスターの中から、優秀作品を紹介します。



1年B組 石丸 真愛



2年C組 吉原 花楓

なお、2人の作品は12月21日(土)に市民文化センターにて展示されます。その他にも、素晴らしい作品がたくさんありました。ポスターの通り、多様性が認められる社会になりますように。